

未来に羽ばたくキッズたち!!



▲We enjoyed English! (英語を楽しんだよ!)

A) アップル (未就学児)



B) ストロベリー (小学1～2年生)



C) フラワー (小学3～4年生)



D) スター (小学5～6年生)



A) ハロウィンで魔女に変装した先生から出席シールをもらいました

B) 初めての教室。みんなで自己紹介をしました

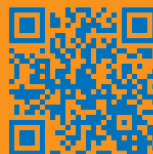
C) チームで協力してゲームをクリアするぞ!

D) スタークラスの英語の成長ぶりには先生もびっくり

平成26年度キッズワールドクラブ
楽しむことを大切に全7回終了

市内の児童、未就学児を対象としたキッズワールドクラブの合同クリスマスパーティーを12月7日に開催しました。キッズワールドクラブは、「楽しみながら英語に触れる」ことを目的とした教室で、今年度は4つのクラスに58名の子供達が参加しました。全7回の教室の最終回となるこの日は、4クラス合同でクリスマスにちなんだゲームや絵本の読み聞かせなど盛りだくさんの内容で楽しみました。キッズワールドクラブは、熟練した児童英語教育の先生と外国人の先生がペアで明るく楽しく進めます。子供達は、コミュニケーションをする上で最も大切な「笑顔」と「相手の目を見ること」を意識しながら、外国人の先生にも元気に挨拶や話しかけることができるようになり、自信をつけていきます。

来年度のキッズワールドクラブは4月中旬頃から募集開始予定です。たくさんのお参加をお待ちしています。





▲昨年の顕賞式の様子。多くの市民の功績が讃えられました

▼会場は従来の遠野市民センターから、あえりあ遠野交流ホールに変更されスタイルが一新



平成 26 年度（第 41 回）遠野市教育文化振興財団

顕賞式

日 時 平成 27 年 2 月 14 日（土） 13 時 30 分～

開 場 あえりあ遠野 交流ホール

入 場 無料 ※会場入り口にて受付を行います

当財団では、教育文化の奨励及び振興を図るため顕賞式を開催し、教育や文化、体育及び社会活動部門で活躍した個人及び団体の功績を讃えて表彰を行っています。今年度は、第 41 回をむかえ、上記の日程で開催します。

昨年は第 40 回の節目の年。成果発表や賞状デザインの一新、BGM

の生演奏など新たな形式で式典を開催し、70 個人 13 団体を表彰しました。市民の輝きにスポットを当てた式典です。会場はどなたでも入場できますので、ぜひお越しください。

当財団は、今年度から市の芸術振興事業を受託していますので、遠野物語ファンタジー制作委員会の事務局を担当します。

昭和 51 年から遠野市民の手で創り演じ続けられている遠野物語ファンタジー。40 回目の公演となる、今回の題目は『でんでらばらだす』。物語の舞台は、姥捨て山伝説が残る土淵町山口集落のでんでら野です。

遠野物語ファンタジー制作委員会委員長の菅原伴耕（はんこう）さんは、「遠野物語ファンタジーは、他市町村の市民劇から注目を浴びている。第 40 回まで継続できたのは、多くの市民のおかげであり、これからも更なる発展のため全力を尽くしたい」と抱負を述べました。2 月 21 日、22 日の本番を目指しキャスト、スタッフ一丸となって素晴らしい舞台にするため取り組みんでいます。ぜひご来場ください。

第 40 回遠野物語ファンタジー

でんでらばらだす

公演間近！

物語のあらすじ

長三郎（ちやうざぶろう）はどうにでんでら野に行く年齢を超えているが、息子の長蔵（ちやうぞう）があらぬ夢を見て百姓に精を出さないため山に行けずにいる。その長蔵の夢につけ込んだ役人の良からぬ企てにより山に連れやられてしまうが、でんでら野はまるで別世界、老人達は楽しく暮らしていた。しかし、長三郎がいなくなった家はたびたび危機に陥り、それを救うためでんでら野の老人達は立ち上がった。



▲旗揚げ会では、キャストが登場し、公演への意気込みを述べました



▲記念公演を熱く語る遠野物語ファンタジー制作委員会委員長の菅原伴耕さん

《会場》

遠野市民センター 大ホール

《公演日時》

① 2 月 21 日（土）

開場 17：30 開演 18：30

② 2 月 22 日（日）

開場 9：30 開演 10：30

③ 2 月 22 日（日）

開場 13：30 開演 14：30

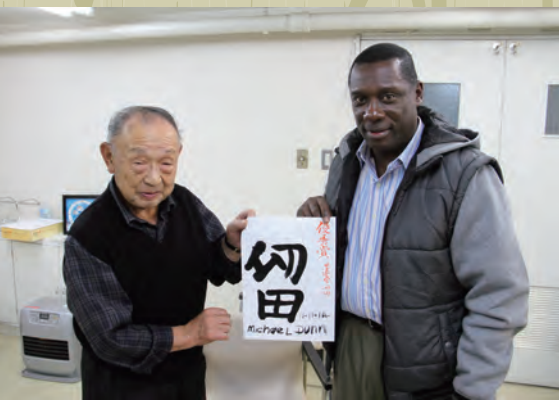
《入場料》

一般 1,300 円（当日 1,500 円）

高校生以下 600 円（当日 800 円）



◀ 紋付き袴姿で記念写真を撮る
ジャマイカ出身のマイケルさん



◀ 初の習字に挑むマイケルさん。
名前の「ル」を漢字一文字で表現
しました



▲ AU ボランティアのエリックさん（左）とネリーさん（右）は剣道に挑戦

遠野の魅力を世界へ

遠野 de 日本文化体験

遠野と世界の架け橋へ

和の文化

当財団が策定した「国際化推進ビジョン」(※)に基づき、遠野市民と外国人とのふれあい交流と旅の思い出づくりのために、「遠野 de 日本文化体験事業」を平成26年10月22日から11月30日までの間、試行しました。外国人が体験できるメニューは、華道や茶道、剣道など全12種。(平成26年11月現在)

短期間ながら、4人の外国人が延べ12回、さまざまな体験や見学を通じて市民との交流を深めました。今回受け入れを行った団体からは、「外国人という意識はなく、自然体で接することができた」「英語の勉強になって良かった」「改めて日本文化を外国人に伝える難しさを感じた」などの感想をいただきました。

当財団では、来年度も市内の受入団体のご理解とご協力をいただき、試行を継続して本格実施を目指したいと考えています。

※「国際化推進ビジョン」

当財団が国際感覚あふれる人づくりのため、「外国人との相互交流を目指して」「外国人にやさしいまちを目指して」の2本柱を基礎とした国際交流計画です。遠野市民と外国人の交流の機会づくりのため、さまざまな事業を行います。

Interview

遠野 de 日本文化体験は

いかがでしたか



マイケル・ダンさん
(ジャマイカ在住)

体験事業に参加し、遠野の方々と素晴らしい出会いがありました。皆さんはとても親切で美しいです。遠野の歴史的名所を訪ね、遠野に住む方々がどのような暮らしをしているか知ることができました。



ジーン・マイヤーさん
(スイス在住)

ジュネーブに住んでいた時、「池坊」を習っていましたので華道を見学しました。本場の華道について知ることができ、とても良い経験になりました。外国からの訪問者にとって、日本文化の理解を深める良い事業だと思います。



◀ふるさと発見探偵団員と一緒に郷土料理「ひつつみ」作り



◀遠野を訪れたミャンマーの大学生の書道体験をサポート



◀救急講習では、心肺蘇生や怪我の応急処置法などを学びました

財団活動サポーターは、青少年育成や国際交流など当財団の様々な活動を支援するボランティアです。平成24年4月から開始した制度で、今年度は43人が登録して活動を行っています。サポーターは、安心・安全に活動を支援するため、初回に救急講習や社会教育活動に関する講習などを受講します。

小学4年生から6年生が対象の「少年少女ふるさと発見探偵団」では、高校生のサポーターが外国人との交流やわらすこまつりなどにも参加して活躍しました。お兄さんやお姉さんのように団員と一緒に活動しながらやさしくサポートしたり、サポーターは財団活動の強力な「助っ人」です。来年度も多くの皆さんのサポーター登録をお待ちしています。



こした ともみ
越田 友美 さん
(遠野高1年)

小学生の時に少年少女ふるさと発見探偵団に参加し、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。今度は活動サポーターとして子供たちの様々な体験の手伝いができたらと思い活動に参加しました。

この活動で子供たちや歳の離れた方との接し方を考えることができたり、普段なかなか経験できないことが出来たりしました。活動に参加できたことは、とても貴重な経験でした。

将来の夢はまだ模索中ですが、何をやるにしてもこの活動の経験は全て役に立つことだと思うので大切にしたいです。



きくち しょうと
菊池 翔斗 君
(遠野高1年)

活動サポーターとして今年度は少年少女ふるさと発見探偵団の活動に2回参加しました。私の将来の夢は保育士になることで、この経験が生かせると思い参加しました。

中学生の時に夏と冬休み期間を利用して保育園のボランティアに参加した経験がありました。今回参加して、初めは小学生との接し方に戸惑うこともありましたが、2回目は積極的に声をかけ小学生と交流を深めることができました。

これから将来の夢の実現に向けて頑張っていきたいです。

Information

遠野物語ファンタジー 40周年特別企画講座 「ファンタジーの舞台裏を見せます」

遠野物語ファンタジーの歴史や舞台の裏側見学、メイキングなど普段知ることができないファンタジーの魅力に迫る講座です。

- ◆日 時 平成27年2月15日(日) 18時30分～20時
- ◆場 所 遠野市民センター 第1会議室
- ◆講 師 遠野物語ファンタジー制作委員会委員長 菅原 伴耕 氏
- ◆受講料 無 料

※受講申し込みは、当財団ホームページ・電話からお願いします。

編集後記
コーヒープレイク
昨年は姉妹都市交流派遣団としてイタリアとドイツに随行し生涯忘れられない経験をしました。今年も健康第一で頑張りたいたいと思います。「佐々木」

遠野de日本文化体験事業を試行してみて、自分自身が改めて遠野や日本の良さを実感しました。交流の輪がますます広がっていくといいですね。「伊香」

世界で活躍する 遠野人

かみ だて ぶん せい

上 館 文 世 さん



ナミビア共和国



▲コンピューターの授業で教鞭をとる上館さん。生徒達の笑顔があふれています

ナミビア共和国は、南アフリカ共和国の北西に位置しており、1990(平成2)年に独立した最も新しい国の一つです。世界最古といわれる赤い砂のナミブ砂漠や、多くの野生動物が見れるサファリが有名です。また、日本でも最近知られてきたヒンバ族を始めとする10以上の民族が住んでおり、それぞれの民族が独自の言語や文化を持って生活しています。

私は、JICA青年海外協力隊として、現地の中等学校でコンピューターを教えています。ナミビアは、一見豊かに見える国ですが、貧富の差は世界でもトップクラス。同じ街に、豪邸に住む人もいれば、プレハブの小屋に住んでいる人たちもいます。また、医療や教育のレベルも日本とは比べられないほど低いです。文化や伝統を壊さずに、どのように国を発展させていくか、これからのナミビアに注目です。